

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 7年 3月 6日

事業所名 アニマートふきあげ 保護者等数(児童数) 19 回収数 15 割合 78 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	7	0	広さに合わせて色々考えてくれていると思うので、あまり気にしていない。	活動スペースを広く使えるよう、工夫していくと共に、屋外での活動や外部の施設・設備をお借りした活動の機会等を増やしていく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	0	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	6	1		事業所内は段差無し。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15	0	0	個別支援で苦手な所を見て頂き、助かっている。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	1	0	イベントが多く、お友達と様々な体験が出来て楽しい様子。	外部の施設等を借りての活動も取り入れている。
	6 アニマートふきあげ以外の外部との交流や、外部への活動へ参加する機会があるか	13	1	1	他事業所を併用している。	感染症対策に留意しながら、外部との交流の機会を設けている。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	0	0	本人の様子や状態を毎回丁寧にお知らせ頂き、助かっている。相談しやすい。	リムへの記載、送迎時に口頭でお伝えしている。Official Accountの活用。Facebookで様子を知ることが出来るのお声頂いている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	0	0	面談をしっかりと行なってくれるので、とても安心する。	半年に1度保護者面談を実施。適宜必要に応じて面談や話し合いの機会を設けている。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	1	0		保護者参加型のイベントを実施、保護者同士の交流が持てるような機会の提供を増やしていく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	1	0		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1	0		スタッフ対応、送迎に関して高評価頂いている。送迎については、今後も安全を心掛け遂行していく。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	0	0		事業所内広報誌は月1回発行、FacebookやInstagram等SNS更新、自己評価や保護者アンケートはホームページで公表すると共に、年1回の保護者会時にも周知を行なっている。
14 個人情報に十分注意しているか	14	1	0		FacebookやInstagram等SNS更新の際に、児童の名前が分からない様スタンプで隠す等の対応。更新前にダブルチェックを行う。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	0	0		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	0	0		消防署への出張依頼は継続して実施していく。
その他	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	1	0	とても楽しみにしている。利用日は興奮気味に出来事を話してくれる。通所をとても楽しみにしている。沢山体験しながら学んでいる様子。	
	18 事業所の支援に満足しているか	15	0	0		
	19 事業所内の日常やイベントの様子が外部から見えやすいか	14	1	0		事業所内広報誌は月1回発行、FacebookやInstagram等SNS更新を行なっている。
	20 連絡帳や口頭での意見交換を行った際に速やかに対応、反映されるか	15	0	0	急な送迎時刻の変更、急な利用やキャンセル時でも、快く対応してもらっている。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 7年 3月 6日

事業所名 アニマートふきあげ

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		外部施設を借りての体操教室や祝日・長期休みの際のイベント実施。	利用児童の成長に伴い、活動内容によってはスペースが狭いと感じる場面もあり。外部施設の活用や、年齢によって活動内容やスペースを分ける等の工夫をしていく。
	2	職員の配置数は適切である	○			下校時間にもよるが、一緒に送迎出来る学校を複数箇所まとめて送迎している。	時間帯や時期によっては、事業所内スタッフが手薄になる時間帯があるが、事故や怪我のないように活動の工夫をしていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年1回アンケートを実施。結果をホームページに公表、保護者会で周知。	保護者向けアンケートにあった意見を、事業所の運営に反映。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページに公表、保護者会で周知している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			系列事業所管理者の視点からの指摘。	第三者委員会の設置は無い。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			月1で事業所内研修を実施。	外部研修にも積極的に参加。内部研修にてスタッフに落とし込みを実施。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別支援計画更新時期に保護者面談実施。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			スタッフ全員で案を出し合っている。	外出イベント時はメイン担当者を決め、主となってイベントを進めて行く。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			スタッフ全員で案を出し合っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			個々に合わせた支援が円滑に行えるよう、個別課題等を準備。	作業療法士と言語聴覚士の個別支援を週2回、体操教室を月2回に増やしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			6か月に1度保護者面談を実施、保護者から児童の様子聞き取りを行う。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝のミーティングで1日の流れと分担の確認を行う。	勤務時間の関係でミーティングに参加出来ないスタッフに関しては、出勤時に申し送りを行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終業後の申し送りにて情報の共有を図っている。	勤務時間の関係でミーティングに参加出来ないスタッフに関しては、翌日申し送りを行う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				家庭への連絡(リトム)の他、気付いた事等メモに残しておく、個別支援記録への打ち込みを反映。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○					
関係機 関や保 護	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			管理者と担当スタッフが参加。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			下校時間や送迎については、複数人で確認するようにしている。	予定表等は頂いているが、予定や下校時間が変更になった際に把握出来ておらず、連絡が来るがあった為、変更があった際は都度お知らせ頂けるようお願いしている。(口頭、Official Accountの活用)
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現在、該当児無し。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			卒園前に先方に同い児童の情報を共有。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				過去、卒業児童の情報提供を行っていた。今後も、必要に応じて行なっていく予定。

一者との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			専門機関との連携は無いが、他事業所(放デイ)と合同での研修等を実施している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○			3月中旬に、事業所で初めて吹上地区地域連合会の会議に参加予定。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			Official Accountも積極的に活用している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			6か月に1度の保護者面談の他、都度必要に応じて話し合いの場を設けている。	利用児童の成長に合わせて、サービス等の情報提供等も保護者に発信していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者会の他、保護者参加型のイベントを企画、保護者同士の交流の場を提供。	保護者会の内容の見直し、作業療法士や言語聴覚士にも参加してもらい、運動遊びを取り入れた親子参加型の保護者会を企画・実施した。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			事業所内広報誌は毎月発行。行事内容やお知らせ等掲載している。	Official Accountも積極的に活用している。
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			近隣住民には手紙等を配布し、周知を行う。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			訓練の際は、定期的に消防士に来て頂いている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止委員会を設置。定期的に事業所内研修で振り返りを行っている。外部研修にも参加。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			身体拘束適正化委員会を設置。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事故防止委員会を設置。	